

平成27年12月17日

平成27年度第2回京都市明るい選挙推進協議会総会（摘録）

1 日 時 平成27年12月17日（木）午前10時30分～午前11時40分

2 場 所 本能寺文化会館 4階「檻」

3 出席者

（1）委員（◎は会長、○は副会長 敬称略）

京都大学名誉教授	◎木下 富雄
京都新聞社論説委員長	○山中 英之
日本放送協会京都放送局放送部長	佐々木 良隆
京都市地域女性連合会常任委員	市原 民子
京都市社会教育委員	坂本 香代子
京都市選挙管理委員会委員長	松原 信廣
京都市選挙管理委員会委員	國枝 克一郎
山科区選挙管理委員会委員長	稻本 浩一
下京区選挙管理委員会委員長	鎌田 高雄

（2）事務局

京都市選挙管理委員会事務局長	吉川 昌弘
〃 次長	境 康伸
〃 選挙課担当課長	田中 稔彦
〃 選挙課啓発係長	井上 俊彦
〃 選挙課書記	中世古 実穂

4 摘録

（1）会長挨拶

（2）協議

○京都市長選挙における選挙時啓発計画（案）について

事務局：「京都市長選挙における選挙時啓発計画（案）」資料に基づき説明。

委員：投票トークバトルの実施場所等の情報を知りたい。

事務局：ゼスト御池河原町広場を予定している。内容詳細は現在調整中である。

委員：学生団体への支援について、支援対象の団体が政治的に偏った活動をしてしまう可能性があるのではないか。調査をしているのか。

事務局：それぞれの団体のこれまでの活動実績を確認した。また、各区選管と連携している団体もあり、政治的中立性は保たれていると考える。

委員：今回の啓発にかかる予算はどれくらいか。

事務局：4千万程度である。

委員：大声チャレンジやトークバトルはとても良いと思う。自身が募金活動

に参加した際に、若者が呼びかけてくれたことで集客力が高まった経験がある。ぜひ協力して啓発していってほしい。

委 員：選挙公報は早く作成し、配布できないのか。

事務局：告示日（立候補届出日）に提出された原稿をもとに作成するためどうしても遅くなってしまう。今回は選挙期間が比較的長いため、投票日間際に届くようなことにはならないと考えている。

（3）報告事項

○本年度事業（ポスター募集、論文募集、出前授業）について

事務局：「報告事項 平成27年度常時啓発事業の実施状況について」説明

委 員：出前授業について、各学校で対象人数が大きく違うのはどうしてか。

事務局：学校の要望に合わせて実施している。カリキュラムにも影響するため、授業時間も人数もバラバラになっている。

委 員：出前授業の実施数は昨年度と比べて増えているのか。

事務局：全体の実施数は増えている。昨年は小学校6年生のみを対象として4校だった。今年は小～高校生に対象を広げて募集した。

委 員：応募を待つだけでなく地域の学校にこちらから声をかけても良いか。

事務局：御協力いただけるのであればお願ひしたい。

（11：40終了）